

### 所長あいさつ

長崎県教育センター所長 古川 勝也



### 「平成27年度を迎えて」

今年は、350名の新規採用教職員に辞令が交付され、その後初任者研修が実施されました。各々が長崎県の新規採用教職員として希望に胸をときめかせ、初任校に向かったことと思います。

そして、県内の各学校では、子どもたちが希望に瞳を輝かせ登校してくる新学期が始まりました。活気に満ちた教室の姿が目には浮かびます。

さて教育センターにおいては、この初任者研修を皮切りに平成27年度の事業が始まりました。

昨年度の当センターの研修講座、出前講座、学校訪問等の利用者数は15,100名にのぼりました。この15,100名のさらなる先には、その何倍もの子どもたちがいます。様々な事業を通して教職員の資質向上に資することが、子どもたちの幸せに結びついていることを胸に秘めて、全所員力を合わせてセンター事業に精一杯取り組んでまいりたいと思います。



今年度も、調査研究、教職員の研修、教育相談、資料収集及び活用の四つの基盤事業の充実・深化を図ります。

新たな事業として、「高等学校における特別支援教育ハンドブック（実践研究編）」を用いた伝達研修会を今年度から二年間実施します。

また、「『いじめの予防と対応』における校内研修の在り方」の成果をまとめた「いじめを生まない学級・学校づくりを目指して」を活用した研修会を県内11会場で今年度から二年間実施します。

他に、児童生徒理解のためのアセスメントや関係機関との連携を充実させるために、センター研修講座の一部に公開講座を開設します。

さらに、この4月から当センターのWebサイトをリニューアルしました。日頃の教育活動にすぐに役立つ指導案や学び直し授業動画、活用教材、教材コンテンツ等多くの情報が満載です。欲しい情報がすぐに見つかるように改善していますので、ぜひアクセスしてください。

今年度も、当センターの事業について、御理解・御協力いただき、積極的な活用をお願いします。

